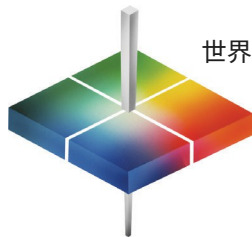


Agera® L2 クイックスタートガイド

A60-1021-827 ver. 1.0



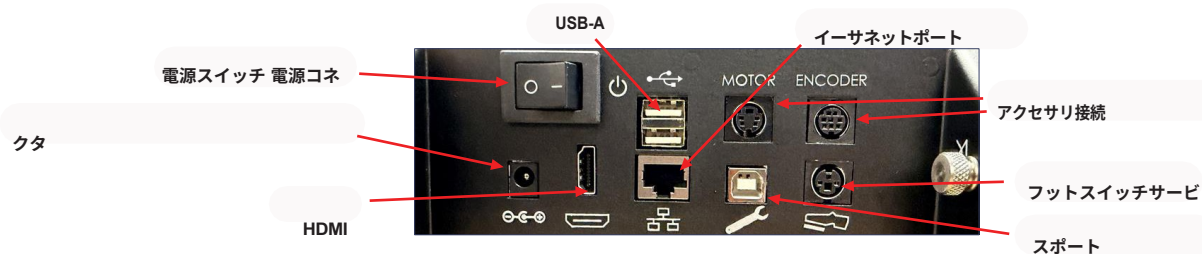
世界が認める真のカラー測定

HunterLab

A

装置のセットアップ

1. AC アダプタのプラグを Agera L2 の背面にあるポートに接続します。

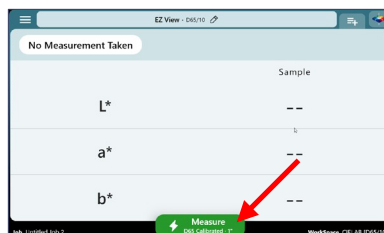


2. AC アダプタの電源コードを壁のコンセントに差し込みます。
3. 本体の背面にあるスイッチを使って、Agera L2の電源を入れてください。
4. Essentials L2 ソフトウェアが自動的に起動し、言語、地域、日付、時刻を設定するための「初回セットアップ」ダイアログが表示されます。設定が完了したら、「完了」をクリックしてください。
5. 上記のセットアップが完了すると、機能を紹介する「ウェルカムウィザード」が表示されます。画面の指示に従って、ソフトウェアの操作に慣れてください。完了すると、装置は標準化の準備が整います。右上隅の HunterLab アイコンをクリックすれば、いつでもウィザードを再実行できます。
6. (オプション) モニターをHDMI経由でAgera L2に接続し、キーボードとマウスをUSB-Aポートに接続してください。

B

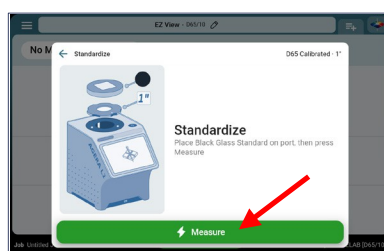
標準化

画面下部中央にある緑色のアクションボタンには「MEASURE」と表示されています。このボタンを押すと、デフォルトのワークスペース設定での標準化が開始されます。その他の標準化オプションについては、Agera L2のユーザーマニュアルをご参照ください。



注：光沢センサーはデフォルトで有効になっており、すべての測定に含まれます。

1. 標準の 25.4mm (1 インチ) ポートプレートを取り付けます。「STANDARDIZE」ボタンを押します。
2. ブラックガラス標準品をセンサーポートにセットします。「MEASURE」ボタンを押します。

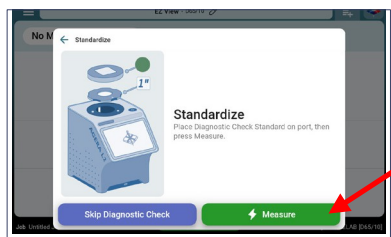


3. 指示が表示されたら、ブラックガラス標準板を取り外し、ポートに認定機器標準板を置きます。「MEASURE」を押します。



4. 認定機器標準板を取り外します。次に、診断チェック標準板をポートに置き、**MEASURE** ボタンを押して続行します。1 インチ標準ポートプレート/D65 校正済みエリアビュー用の診断チェック標準値は、工場出荷時に設定されており、標準板の裏面に記載されています。

- お客様が他の標準化モード（例：異なるポートプレート、エリアビュー、UVモード、または光源プロファイル）を設定した場合、最初の特種ポートプレート標準化では、緑色標準を5回測定し、その平均値を、その特定のポートプレート標準化モードにおける今後の緑色標準チェックの目標値として使用します。
- ユーザーは、[システムメニュー]→[機器設定]→[診断] で、1 インチ標準ポートプレート/D65 校正済みエリアビューを除くすべての標準化モードの診断チェック標準ターゲットをリセットできます。



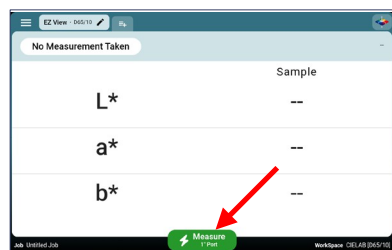
オプション：「診断チェック標準」テストをスキップするには、「**SKIP DIAGNOSTIC CHECK**」をタップします。スキップすると機器の性能に影響が出る可能性があり、警告メッセージが表示されます。

注：診断チェック標準のテストに失敗した場合は、認定機器標準、診断チェック標準、および/またはブラックガラス標準を清掃し、テストを再度実行してください。問題が解決しない場合は、HunterLab サポートにお問い合わせください。

C

サンプルの測定

1. サンプルを準備し、ポートの中央に配置します。「MEASURE」を押します。



新しい機器の電源を入ると、

以下のデフォルトのワークスペースが読み込まれます：

表示： EZ View
カラースケール： CIELAB絶対色度/観測
者： D65/10度標準タイプ:ア

ドホック/ワーキング

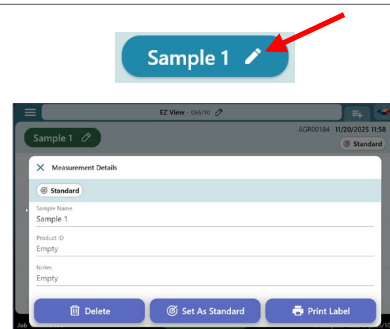
注：デフォルトで2つのワークスペース（CIELAB (D65/10) および HunterLab (C/2)）が読み込まれています。これらのワークスペースは変更できません。ただし、デフォルトのワークスペースを編集して

新しいワークスペースとして保存するか、既存のワークスペースを基に新しいワークスペースを作成して、そこで編集することができます。

D

標準ワークスペースの作成

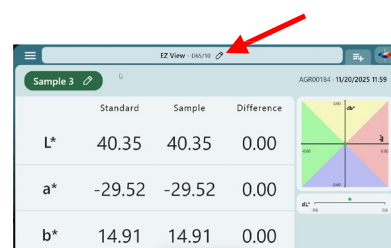
1. デフォルトのワークスペース（アドホック／ワーキング標準タイプ）では、最初のサンプル測定値が自動的に
。これを変更するには、新しいサンプルを読み込み、「サンプル名」ボックスの鉛筆アイコンをクリックし、「標準として設定」を選択します。



E

簡単な差異を表示するようにEZビューを編集する

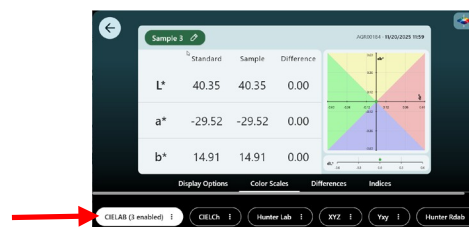
1. EZ View 画面で、[EZ View] タブにある編集アイコンを選択します。次に「表示オプション」を選択します。「標準を表示」と「差異を表示」の横にあるラジオボタンを選択すると、簡易差異が表示されます。



F

EZ View でのカラースケールの編集

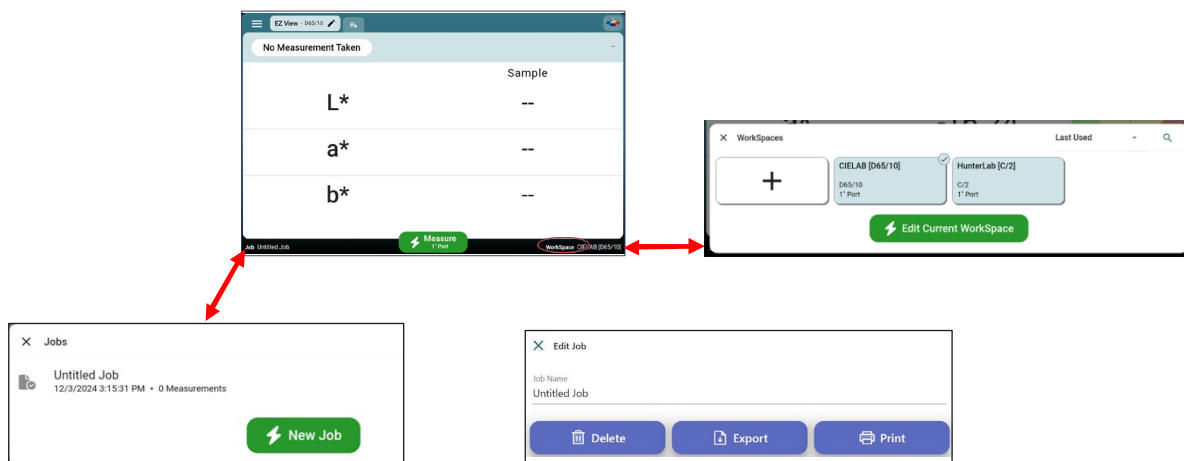
1. EZ View 画面で、EZ View タブ内の編集アイコンを選択します。次に、必要なカラースケールを選択します。



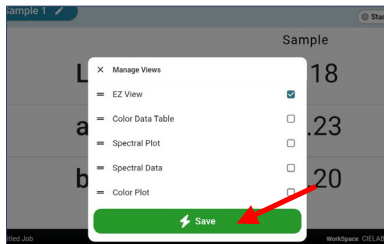
G

ワークスペース/ジョブの変更または追加

1. 画面右下のワークスペース名をタップして、ワークスペースを変更または追加します。ワークスペースダイアログに従って、差異/インデックス、読み取りオプション、データエクスポートオプションなどを編集します。
2. 画面左下のジョブ名を押して新しいジョブを作成するか、既存のジョブをタップしてジョブ名の編集、ジョブの削除/印刷、ジョブのエクスポート（.xls、.csv、または.pdfファイル）を行います。

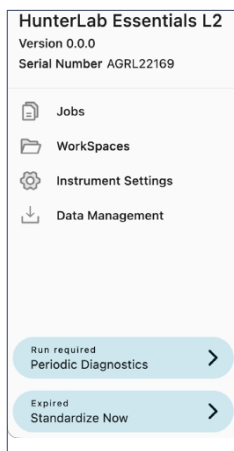


1. 「EZ View」タブの横にある  「EZ View」タブの横にあるビューアイコンを使用します。目的のビューの横にあるボックスを希望するビューの横にあるボックスをクリックして、ビューを選択します。
します。「保存」を押します。



画面の左上隅にある3本線のアイコンをタップして、システムメニューを起動します：

1. 「ジョブ」および「ワークスペース」は、ワークスペース／ジョブダイアログを開く別の方法です。
2. 「機器設定」では、標準化間隔の選択、Agera機器からの標準データのインポート、日付/時刻の変更、言語の選択、画面の反転、およびセキュリティ設定を行うことができます。
3. 「データ管理」では、ジョブおよびワークスペースのファイルを .ezm2 形式（外部アプリケーションでは読み取れません）でフラッシュドライブに保存できます。
4. 「定期診断」では、診断のステータスが表示され、ユーザーが診断を実行できるようになります。
5. 「標準化」では、現在のステータスが表示され、ユーザーが標準化を実行できます。



装置の使用に関するより詳細な手順については、『Agera L2 ユーザーマニュアル』を参照してください。

装置のメンテナンス、操作、修理に関する詳細については、support.hunterlab.com をご覧ください。